

五所川原市金木観光物産館大規模改修基本構想（案）についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市金木観光物産館大規模改修基本構想」（以下「基本構想」という。）の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和2年12月8日（火）から令和3年1月8日（金）まで

2 募集方法

市のホームページ（<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>）に案の概要等を掲載したほか、市観光物産課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所（法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先）の明記を条件としました。

3 提出された意見

3人の方から延べ12件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
6件	0件	3件	0件	3件	12件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

（提出された意見の内容とそれに対する市の考え方）

提出された意見	市の考え方
<p>【バリアフリーについて】 改修にあたってはバリアフリー化、車椅子が通れる通路幅を確保してほしい。ユニバーサルデザインのバリアフリートイレを検討していただきたい。</p>	<p>【文章修正等】 ご意見を参考にし、改修設計に活かしていく予定であります。また、ご意見を踏まえ、P.12、P.13の「多目的トイレ」という表記を「バリアフリートイレ」と修正いたします。</p>
<p>【P8 施設（金木観光物産館「マディニー」）における課題について】 「近隣観光施設に集客がなければ集客が見込めない」は、あまりにも他力本願で無責任な表現だと思える。「斜陽館」イコール「マディニー」ではなく、また「入口」の問題が大きな課題要因だと考えられな</p>	<p>【文章修正等】 ご意見を参考にし、P.8の「近隣観光施設に集客がなければ集客が見込めない」という表記を「近隣観光施設の集客に大きく影響されている」と修正いたします。金木観光物産館はこれまで周辺観光施設の集客に依存していた状況に</p>

<p>い。長期にわたる経済低迷と団体から個人旅行志向の移行やインバウンド取り組みの遅れなどが考えられる。今一度、その要因を分析・検証を専門アドバイザー等に意見を求め基本構想の中で明示するべきと考えます。</p>	<p>ありました。このような状況を反省し、地域の農産物、加工品等を主体とすることで、地域住民はもとより、観光客の方々にも地域の特色ある食文化を紹介・提供できる施設に業態転換を図ることとしております。また、マディニーの当初のメイン出入口は、斜陽館側に向けたものとなっておりました。しかし、実際の利用は、北側のサブ出入口が使用されてきた現状があります。業態転換に伴い、駐車場とのアクセスを向上させるとともに、一目でわかりやすい出入口を設置することも施設面の課題として認識しております。なお、ご意見のとおり他の課題も考えられますが、全ての課題をあげることはできないので本施設の特に重要な課題のみを明記していることをご理解ください。</p>
<p>【P9 4）計画施設に求められる役割 【地域住民の生活の利便性の向上】 「地域の日常の買物の利便性が向上する施設について】</p> <p>周辺にスーパーや商店があり、観光施設が競合する必要はない。高齢者や障害者の買物代行は社会福祉協議会等でヘルパーが代行しており、独立採算制を目指すマディニーの少ないスタッフにその役割をかわせるべきでないのではないか。</p>	<p>【文章修正等】</p> <p>金木観光物産館では、これまで一般の流通には乗りにくかった地域で採れた野菜や農家の加工品、手工芸品などの小口出荷者の商品をメインに販売することを想定しております。これにより、地域消費者には選択の幅が増え、利便性が向上するものと考えております。</p> <p>また、地域住民の利便性の向上には、来店のみではなく、弁当、総菜の宅配サービスも想定されてはおりますが、これらについては今後決定される管理者からの提案と協議により、機能を決めていきたいと考えております。</p> <p>なお、ご意見を参考に、P19 10) 運営計画 ①運営に関する方針の表記をより詳細に表現し、「指定管理者制度による公設民営方式の運営とします。指定管理部門については、金木観光物産館の設置目的を踏まえ、指定管理者と管理方法、維持管理コスト等を協議し、効率的な施設管理運営を行います。自主事業部門については、指定管理者の計画に基づき、市が計画実施の支援を行いながら自主事業の採算性を確保することを目指します。」と修正いたします。</p>

<p>【P10 ●顧客の買う喜びをプロデュース 「徹底した顧客満足の追求を図る」について】</p> <p>顧客満足度は、専門的知識をもったアドバイザーの意見をもって調査・検証していただきたい。</p>	<p>【実施段階検討】</p> <p>今後、顧客満足度について検証する際は、ご意見を参考に検討いたします。</p>
<p>【P11 ●施設と生産者の共同・協働の商品づくり 「営農指導ができる体制を構築する」について】</p> <p>農協や行政が行うべき業務を指定管理者の要件に求めるのか。前にも記述したが、少ないスタッフであれもこれもでは酷ではないか。削除すべきと考える。</p>	<p>【文章修正等】</p> <p>営農指導は、専門機関等によるもののほか、近年では、担い手の育成・確保、環境保全型農業の推進、安全な農畜産物の生産指導、農作業安全確保のための取り組み等の役割も重要になっています。特に農産物直売所においては、高付加価値化のための品種選定、出荷時期、包装、値付けなども営農指導として捉えております。当施設においては、市、指定管理者が連携し、出荷者をインキュベーションすることも重要な機能と考えておりますので、このような意味における営農指導という表現である旨、修正いたします。</p>
<p>【P11 7)施設コンセプト 「かなぎ ふれあいおかいもの」について】</p> <p>地元商工会のコンセプトと勘違いする。産直を併せ持った観光施設として、もっと魅力あるコンセプトを示していただきたい。</p>	<p>【その他】</p> <p>当施設は、金木地区中心市街地活性化の核施設として機能したいと考え、整備を行うものです。そのため、当施設のみならず、中心市街地での位置づけを踏まえた施設コンセプトを設定させていただきましたことをご理解ください。</p>
<p>【P14 【ターゲット】について】</p> <p>「地域住民（金木地域）、市内住民、観光客・・・とあるが、市民及び観光客の表現でこと足りると考える。まして「通りすがり客」の表現は必要ない。</p>	<p>【文章修正等】</p> <p>「地域住民（金木地域）、市内住民」の表現には、五所川原市民の特に金木地域住民が金木観光物産館を主体的に利用してほしいという思いが込められております。なお、ご意見のとおり、P. 14、P. 16、P. 17の「通りすがり客」という表記を「通行人」と修正いたします。</p>
<p>【P15 一人世帯、高齢者世帯商品について】</p> <p>産直出展者の商品として想定するなら、「目玉商品展開」を含めて、「魅力ある商品づくりの推進を図る」としてはどうか。</p>	<p>【実施段階検討】</p> <p>「目玉商品展開」という表現は、多くの人に分かりやすい簡潔な表現として使用しております。また、ご指摘いただいた「魅力ある商品づくりの推進を図る」については、施設のテーマの一つとして実施段階の活動テーマとして検討いたします。</p>

<p>【P16～17について】</p> <p>「ターゲット」に外国人観光客も加え、これまで遅れていたインバウンド対策を構築してほしい。また、集客案に英語、韓国語等の表記をし、食文化や異文化発信を図ることも必要ではないか。</p>	<p>【実施段階検討】</p> <p>金木観光物産館は「地域住民（金木地域）、市内住民」が主体となる施設を想定しておりますが、本施設に限らず外国人観光客への言語対応等は必要であると認識しております。ご意見を参考に検討いたします。</p>
<p>【トイレについて】</p> <p>店内用と屋外に独立して使用できる別なトイレを整備したらよいと思います。</p>	<p>【その他】</p> <p>これまで金木観光物産館内のトイレは飲食ゾーンを通過しなければ利用出来ないなど、閉鎖的なトイレ設計となっております。リニューアル後は入店後、スムーズにトイレを利用できる配置予定となっております。また、屋外トイレについては、基本構想説明会等においても必要である旨のご意見を多数頂戴しておりますので、今後の街づくりの参考にいたします。</p>
<p>【ゾーニング計画（案）について】</p> <p>今の計画では、観光団体に対する「食」の提供がありません。年々減少している団体客数ではありますが、これではますます滞在時間も減り、地域にお金が落ちるようには思いません。二階は団体や小グループがお食事できるスペースとして開放してほしいです。せっかく地元の農産物を販売する施設なのであれば、新鮮な野菜を使って、ここでしか味わえない逸品も観光客層に提供してほしいです。</p>	<p>【その他】</p> <p>リニューアル後の金木観光物産館は、団体旅行から個人旅行へ旅行形態の変化に対応したレイアウトとしており、飲食部門では産直部門に出品されている商品を材料としたメニューも提供する予定としております。ご意見のありました団体客の「食」の提供については、本施設ではなく、周辺施設でのご利用による地域の活性化を思い描いております。</p>
<p>【管理運営について】</p> <p>基本構想（案）の中に、「地域の魅力が広く発信される施設」「地域活性化の拠点となる施設」とありますが、そうなるためには、そうそう簡単に素人ができるものではないと思います。ですから、このようなことに慣れ、実践し、多くの地域を見聞されている観光に精通した方が館長となり、お手本を見せ、人材を育成し、地域を牽引して頂ければと思っています。</p>	<p>【文章修正等】</p> <p>当市も、金木観光物産館が「地域の魅力が広く発信される施設」「地域活性化の拠点となる施設」となるためには、様々な経験、スキル等をもって方と共に本施設を創り上げていくことが必要であると認識しております。管理者につきましては、人材育成力、地域牽引力、経営力等の判断材料とし、適任者を選考いたしたいと考えております。なお、ご意見を参考に P.19「選考委員会等によるプロポーザル方式を採用予定」という表記を「五所川原市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年五所川原市条例第65号。）に基づき、適任者を選考予定」と修正いたします。</p>